

沖縄県振興審議会 第1回福祉保健部会【議事要旨】

1 日 時 令和元年7月30日(火) 13:30~15:30

2 場 所 沖縄県庁 6階 第2特別会議室

3 議題

(1)沖縄県振興審議会専門委員 委嘱状交付式

(2)沖縄県振興審議会 福祉保健部会

福祉保健部会における調査審議の方針について

「沖縄21世紀ビジョン基本計画(沖縄振興計画)等総点検
報告書(素案)」について

今後の審議の進め方について

質疑応答、要望等について自由発言

4 出席者

部会長 安里 哲好 (一社)沖縄県医師会 会長

副部会長 湧川 昌秀 (社福)沖縄県社会福祉協議会 会長

大城 則子 (一社)南部地区医師会南部在宅医療介護支援センター
医療介護連携コーディネーター

岡野みゆき (公財)沖縄県労働者福祉基金協会 事務局長

小那覇涼子 (公社)沖縄県母子寡婦福祉連合会

沖縄県マザーズスクエアゆいはあと 統括責任者

亀谷 浩昌 (一社)沖縄県薬剤師会 会長

仲座 明美 (公社)沖縄県看護協会 会長

仲地 賢 沖縄県保育協議会 会長

真境名 勉 (一社)沖縄県歯科医師会 会長

宮城 雅也 (公社)沖縄県小児保健協会 会長

村田 涼子 (社福)若竹福祉会 理事長

村濱千賀子 (公社)沖縄県栄養士会 会長

【事務局等】

保健医療部 砂川保健医療部長

子ども生活福祉部 大城子ども生活福祉部長 ほか

【議事要旨】

始めに、沖縄振興審議会福祉保健部会専門委員に対する委嘱状交付式をおこなった。

次に、砂川保健医療部長によるあいさつ、及び各委員及び事務局の紹介をおこなった。

安里部会長による議事の下、事務局から各資料の説明、今後の部会の進め方、スケジュール、各回の検討テーマなどについて説明するとともに、事前提出があった意見に対する回答及び各委員による質疑応答等をおこなった。

【薬剤師の確保及び育成について】

亀谷委員から、薬剤師の確保に向けた国公立大学における薬学部（科）の設置について報告書（素案）への追記の提案があった。

事務局より、薬剤師の確保に対する県の取組について説明するとともに、報告書（素案）へは、「県内国公立大学での薬剤師養成に向けた取組を強化する必要がある。」旨を追記する（案）が示された。

【認定こども園における薬剤師の状況について】

宮城委員より薬剤師の増加についての計画、認定こども園における薬剤師の状況について質問があった。

事務局より、認定こども園においては、薬剤師を嘱託配置している旨の説明があった。また、薬剤師の不足による認定こども園への影響については、今後、情報収集する旨の説明があった。

【県民意識調査について】

湧川副部会長より、報告書（素案）に掲載されている「県民意識調査」の概要についての質問があった。

事務局より、県民の施策ニーズを図るために3年に1回実施されている調査であることについて説明があったが、具体的な調査方法やサンプル数等について、次回会議にて回答する旨の説明があった。

【歯科保健（8020 運動）について】

宮城委員より、報告書（素案）における主な成果指標「80歳で20歯以上自分の歯を有する人の割合」の現状値が、R3年度目標値を既に上回っていることに対して、健康な老人のみのデータとなっていないか（病院で寝たきりの方々のデータが含まれていないのでは）との疑問があった。

事務局より、本項目は、県民健康・栄養調査によるデータであること、調査回答の偏りについても、今後、他の調査結果も含めて総合的に判断していくとの考えが示された。

【合計特殊出生率について】

安里部会長より、沖縄県における合計特殊出生率の今後の見込みについて質問があった。

事務局より、沖縄県の合計特殊出生率は、全国と比較しても高い数値であること、しかし、沖縄でも年々減少傾向にあることから、今後、総合的な対策を講じる必要があることについて説明があった。

【福祉人材の育成・確保について】

大城委員より、介護支援専門員の養成にあたっては、量（資格取得者数）だけでなく、質（実際に現場で働いている人数）について考慮する必要がある旨の発言があった。

村田委員より、現場における人材確保の難しさについて発言があるとともに、今後の部会において、人材育成の方向性についても検討していく必要があることについて発言があった。

岡野委員より、雇用の量よりも雇用の質の改善に向けた取組が必要であること。子どもの貧困対策において、県としての具体的な取り組み内容について質問があった。

事務局より、昨年に実施した子どもの貧困対策計画の中間評価および計画改定における雇用の質の改善に向けた取組について説明があった。

【災害時の医療体制について】

宮城委員より、21世紀ビジョンにおける災害時の体制の取り扱いについて意見があった。(報告書において関連する記載がないこと、今後、福祉保健部会で取り扱う必要があるのかを確認)

事務局より、災害医療については、個別計画(沖縄県防災計画、沖縄県医療計画等)において取り扱いがあること、21世紀ビジョンにおいての取り扱いを排除するものではないことを説明があった。